

## 中学生とのタウンミーティング（要約）

テーマ：未来の松山のこと、私の住む地区のこと

令和6年8月20日（火曜日）

【市長】 今日、夏休みの大切な時間に集まっていただきまして、本当にありがとうございます。また、生徒さんを引率していただいた先生方、本当にありがとうございます。まず、先日の大雨で大きな被害が発生したことを大変残念に思っています。また、被害に遭われた皆さんやご家族には、心からお見舞いを申し上げます。さて、この松山市のタウンミーティングですが、私と市民の皆さんが意見交換をして、松山市のまちづくりに生かしています。私が市長になってからずっと続けていまして、今回が139回目になります。松山市のタウンミーティングなんですけど、地区別、世代別、職業別と開催しています。まず地区別というのは、旧の松山市と旧の北条市と旧の中島町と合わせて、松山市は全部で41地区に分かれます。その地区ごとに開催をしまして、今、だいたい各地区3巡りしたところです。そして、世代別では、若い方から言いますと、高校生とのタウンミーティング、大学生、専門学校生とのタウンミーティングをしたことがあります。また、子育て世代の方々、働き盛りの方々、そして、おじいちゃんやおばあちゃん世代になります、シルバー世代の方々ともさせていただいたことがあります。また、職業別のタウンミーティングというものもやっています。例えば、農業をされている方に集まっていたりとか、商店街の方々に集まっていたりとか、また、コロナで経済が影響を受けている時には、経済の実態をよく知っている金融機関の方々とタウンミーティングをさせていただいています。これまで、大人の方と一緒に、中学校や小学校に通うお子さんの参加もあったんですが、中学生とのタウンミーティングというのは、先月に続いて2回目ということになります。また、タウンミーティングに参加した皆さんから、松山市の取組がよく分かって勉強になったとの声をいただきましたので、意見交換の間に今日も広報タイムを設けています。今日は消防の職員がお話をいたしますので、よろしく願いいたします。いただいたご意見に対しては、できるだけこの場でお答えをいたします。また、国と関係をする案件、愛媛県と関係をする案件、財政的によく考えなければいけないもの、そういうものがございまして、いい加減な返事をするわけにいかないの、そういったものは一旦、引き取らせていただいて、1カ月を目処に必ず返事をする。聞きっぱなしにしない、やりっ放しにしないというのは、松山市のタウンミーティングの特徴です。今日はあんまり緊張しないで、90分ありますからね。やっぱり肩肘張っちゃうと、緊張すると、しんどくなっちゃいますから、肩肘張らないで、いい意見交換ができればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

【日浦中】 日浦中学校です。水不足のことについて質問があります。松山市では去年の冬に、石手川ダムの水が減少しました。降水量の少ない松山市では、実際に、平成6年に水不足になっていたと聞いています。私の母も水不足を経験し、大変だったと言っていました。

そこで一つ質問があります。今後、水不足の対策として検討されていることはありますか。

【企画戦略課長】 松山市では、節水型都市づくりを進めるために、様々な取組を行っています。その中でも節水シャワーヘッドや節水型のトイレなど、節水機器の普及に特に力を入れて取り組んできました。皆様のご協力のおかげで、1人が1日に使う水の量の平均は、大渴水があった前の平成5年度は358ℓでしたが、令和5年度は280ℓと、約20%も減らすことができ、節水型都市づくりが進んでいます。また、松山市の公営企業局では、道路に埋まっている水道管の水漏れを早めに見つけて修理するとか、水漏れしやすい老朽化した古くなった水道管を優先して交換するなど、水を有効活用してきました。水は限りある資源ですので、無理して水を使わないということではなく、無駄に水を使わないことが、水不足を防ぐことに繋がりますので、ぜひ学校やご家庭での節水にご協力をお願いします。

【市長】 私から追加させていただいて、平成6年というと、みんな生まれてないですよ。大渴水があったんですよ。私は当時、南海放送のアナウンサーとして取材をしていました。当時は、1日に5時間しか水を出すことができなかつたんですよ。今は、膜ろ過施設を設置し、安定取水が可能になるなど、様々な取組を実施することで、平成6年と同じような大渴水になったとしても、11時間までは水を出すことができるようになっていきます。その中の一つに、皆さんの節水のご協力で、1日に358ℓ使っていたのが、280ℓになっています。78ℓも減ってるわけです。やっぱり新しい水源を確保しようと思ったら、お金も要りますよね。やはり節水。無駄なお水は使わない、節水をしていただくことで、新たな水源が見つかっているということにもなるんですよ。ですので、皆さんの節水の努力は非常にありがたいことです。日浦の中学生の皆さんも、木を植えたりしてくれていますよね。竹だとあまり水を蓄える力がないんですが、広葉樹の桜とか、そういったものは水を蓄える能力があるので、そういったものを竹から植え替えたりしています。そういうのも節水で、水を蓄える、水を大事にする取組になりますので、引き続きご協力をよろしくをお願いします。

【南中】 南中学校です。私たちは、松山市のまちおこし、人口減少について質問します。松山市の人口は、当時、四国で唯一50万人を超える都市でしたが、現在、人口は50万人を下回っているという情報を目にしました。そして近年、日本全国で少子高齢化や過疎化が問題になっており、それは松山にも当てはまることだと考えています。この問題の対策として、私たちが大人になった時、このまちで働きたい、住みたいと思えるようなまちづくりが必要だと思います。今現在、松山市ではどのようなまちづくりを行っているのでしょうか。

【市長】 私の方からお答えいたします。松山市は、皆さんに愛着を持ってもらえる、誇りを持ってもらえる、そして、快適に暮らせるまちづくりを進めています。松山市の魅力の一つに、コンパクトシティであることが、松山の魅力の一つなんですね。全国でもデータがあるんですけど、通勤や通学にかかる時間が約20分で、これは全国の中でもトップクラスに短いんですよ。東京出張へ行くと、特に通勤で言うと、東京都で働いているんだけど、なかなか家が大変なんで、埼玉に住んでますっていう方、結構いらっしゃいますよね。通勤にも

のすごく時間かかるんです。それは行く時だけじゃなくて、帰る時も同じことになりますよね。ですから、松山市はこの通勤通学にかかる時間が全国でトップクラスに短いというポイント、コンパクトなまちであるということです。ということは、自由に使える時間が長いということにもなります。松山市は、こういったコンパクトシティであるってということとか、海がない県や市ってあるでしょう。山がない所もあるでしょう。お隣の松前町さんは山がないんですよ。うち山ないんですよって松前町さんおっしゃいますけれども、松山市は海もあって山もあります。柑橘で言うと、美味しい紅まどんなも全国で知られていますよね。せとかとか、いろいろといいものがあります。松山城があって、道後温泉があって。道後温泉なんかは、もう本当、世界からお客さんが来てくれますよね。松山城だって、よくニュースで、結構、海外の方が松山城に来られているなっていう映像を見ますけれども、世界から来ていただいています。ですので、全国から見ると、松山はいいものがいっぱい多くあるんじゃないかなというのは感じています。ですので、今、松山市の今後10年間の方向性を決める、総合計画っていう、松山市の計画の中でも一番最上位の計画です。環境の計画とか、教育の計画とか、いろんな計画があるんですけども、その最上位の総合計画を作っているんですが、特に、これからの時代を担う、皆さんの世代の声をしっかりと聞いて、総合計画を作っています。何が大事なのかっていうのを皆さんから聞きながらやっているところなんです。皆さんに住んでよかったな、松山市の持っている魅力をもっと伸ばして、そして新たな魅力を作り出して、皆さんに住みたい、働きたいと思ってもらえるようなまちづくりをしていきます。しっかりやっていきます。道後のことは終わりました。道後は100年に1回の大修理が、もう今年で終わります。これは、皆さんの世代に、道後をちゃんと残すためです。先送りするんじゃなくて、我々の世代でしっかりやりましょうということで、道後は終わりました。花園町通りもきれいになりました。今、お隣の松山市駅前が再開発で、令和8年に完成します。一番町の国際ホテルの跡地も、民間の再開発になりますけれども、松山市が全力で支援しますということで、今、動いています。銀天街も、民間の再開発ですけども、松山市が全力で支援しますということで、動いています。J R松山駅のところも動いています。しっかりと次の世代に残すまちづくりをやっていきたいと思いますので、頑張ります。またよろしくお願ひします。

**【南第二中】** 南第二中学校です。僕たちの質問内容は、税金の教育関係への使われ方です。今は、教科書などを無償で配ってくださったりしてると思うんですけど、学校やその他の教育に対して、どのくらい、どのように税金が使われているのか。また、今後、税金を使って、市長さんがやってみたい、充実させていきたい、教育に関する活動は、どんなことがありますか。

**【教育総務課長】** 教育関係の予算のご質問ありがとうございます。今年度、教育に使う予定のお金は、約204億円です。松山市全体で使うお金が、約2,200億円なので、市全体の10%近くが、教育のために使われているということになります。皆さんが通う学校で

は、電気代や水道代のほか、壊れたものを修理したり、古くなった建物を建て替えたりするのに使われているところです。また、学校教育だけではなく、公民館が主催する地域行事のほか、子規記念博物館であったり、市立の図書館の運営など、幅広い世代の方が学ぶ社会教育の場というところでも使われている状況です。これらのお金につきましては、お給料、給与などの収入に応じて納める住民税であったり、土地や建物などを持つ人が納める固定資産税などの市の税金のほか、教育環境をより良くするための国や県の補助金など、様々なものから支出しているという状況です。近年では、令和2年度に、皆さんにもご活用いただいている、1人1台のタブレットを導入しました。来年度には、全ての小中学校でタブレットを入れ替える予定です。これにより、タブレットの動きがスムーズになったりしますので、またさらに利用しやすくなるんじゃないかなと思っています。その他にも、給食用の食材価格が上がる中、保護者の方の経済的負担を増やすことなく、価格が上がった分を市が負担するということで、栄養バランスと量を保った給食の提供を続けています。今後も、子どもから大人まで、多くの方が夢を持って学んでいけるような教育環境を整えていくというところで取り組んでいきたいと考えています。

【市長】 皆さん、病院に通院と入院ってあるでしょう。病院の通院と入院、大きく分けて2つなんですけど、通院についても入院についても、幼稚園さん保育園さんまでが無料になっていたんですよ。私が市長に就任させていただいて、これをもっともっと広げる必要があるなと思って、小学校6年生まで、また、中学校3年生まで、ぐっと広げてきて、今は皆さんが18歳、学年で言うと高校3年生の年度末まで、入院についても通院についても無料になっています。これはものすごくお金が要る話なので、頑張って広げてきたってところです。これからなんですけれども、今、例えば、小学校と中学校の教室にエアコンがついたでしょ。できたらね、体育館にエアコンをつけよう、と思うんだけど、計算すると、空調設備を体育館に設置するには、1校当たり約5,000万円かかるんです。小学校が53校、中学校が29校あるので、つけるとしたら、小学校も中学校も両方つけないといかんでしょ。それで、5,000万円かける82校とするならば、約41億4,000万円かかるんです。空調設備は、大体13年使えると考えるので、毎年の維持管理費っていうのが、全部で8億4,000万円かかるんです。となると、41億4,000万、足し算だよ。41億4,000万たす8億4,000万で、大体、約50億円かかるんですね。かつ、体育館に空調を入れて、それで終わりではなくて、屋根とか外壁とか床とかガラスとかを断熱性と言いましょとか、熱を遮るものにすると、本当に効果が出る。それをやろうとすると、1校当たり1億2,000万円かかるので、全部で言うと100億円ぐらいかかります。体育館にエアコンをつけようと思うと。ですので、これら150億円をどう捻出するかっていうのが大変になってくる。今、皆さんの限られた税金の中で、おうちと一緒に。限られたお財布の中でやっているの、例えばさっき言ったように、150億円いるんだとしたら、どこかで150億円削らないといけないんですよ。これがとても悩ましい。皆さんからいただいている税金でお仕事させていただいているので、メリハリをつけながら、いろいろと考える

がら、やっているというところです。ちょっと長くなりました。

【興居島中】 興居島中学校です。興居島について質問です。興居島では土砂崩れが原因で、通行止めになっている箇所があります。島民や観光客が不便に感じたり、サイクリングでは興居島一周ができなくなっているなどの課題があります。興居島では観光客を増やすために、島でのイベントなどを開催して工夫していますが、通行止めが原因で、観光客減少に繋がると感じています。また、興居島は、由良港の周辺はコーヒー屋さん、お弁当屋さんなどの商業施設が充実していると感じるんですが、泊港の周辺にはそのような商業施設がなく、島民や観光客にとって不便に思っているので、興居島は働く場所があまり多くないと感じています。このような課題について、市長さんはどのように捉えられているのでしょうか。

【市長】 これ、道は直りますよね。お願いします。

【都市・交通計画課長】 災害で被災された道路についてですけれども、興居島の島内には2カ所、被災箇所が残っていました。門田町の市道興居島49号線というところは、今年の4月から工事を行いまして、先月7月に工事が完成しています。また、現在、工事を行っている泊町の県道興居島循環線という県道なんですけれども、愛媛県に問い合わせましたら、10月の完成を予定しているとのことでした。

【市長】 市道の方は先月直りました。もう一つ残ってるところは県道なので、10月に直る予定ですよっていうところです。今の興居島、以前に比べて、港を上がったところにコーヒー屋さんができたりとか、ちょっといろんな動きが出てきてますよね。フェリー会社さんが別荘だったり空き家だったところを、店舗や家に変えたりとかっていう動きが出てきます。ありがたいなと思います。私は、東京の大田市場って言いまして、日本で一番大きい、果物や野菜の取り扱い量を誇る、東京の大田区にある大田市場っていうところにセールスに行くんですけど、そこのバイヤーさんや、せり人さんたちは、興居島にすごい行きたがるんですよ。何でかっていうと、松山空港から羽田空港は、実質飛んでる時間は1時間ぐらいじゃないですか。松山空港から海辺を走って、港に行く。海のないところもあるって言ったでしょ。海辺を走って港に行く。港からちょうど10分ぐらい船に乗ったら、興居島に行って、いろんな柑橘が見られる。旅気分も味わえて、フェリーにも乗れて、いろんな柑橘が見られるということで、興居島は大人気なんですよ。ですので、どうぞ興居島中学校の皆さんは、興居島に誇りを持っていただいて、とっても注目されている。また、新たな出店なんかも続いているところなので、一緒になって、また盛り上げていけたらと思います。よろしくお願いします。

【津田中】 津田中学校です。私たちは、駐輪場の設置について質問します。普段の登下校や週末に友達と遊ぶ時に、よく自転車を利用しています。しかし、駐輪場がない場所が多く、自転車の路上駐輪を多く見かけます。街中に無料の駐輪場を設置してほしいと思います。

【市長】 私の方からお答えします。ちょっとパワーポイントを見てもらったらと思います。

かなり進めてきました。これがデータです。平成8年の松山市の放置自転車の数は、9,000台だったのですが、令和5年、去年の直近の数字でいうと1,650台、7,350台減少したというところがあります。どうやって減らしてきたかという、みんなマナーを守ってほしいんですけど、松山市内で、例えば点字ブロックがあるところに、自転車を止めていたとします。目の不自由な方が、白杖、白い杖をついて、点字ブロックが目印になるから、こうやって歩いてきて、バーンと自転車に当たるっていうようなことがあったらいけないですよ。やっぱりマナーを守っていただくっていうことが、とっても大事になります。昔の多かった頃なんだけど、大街道とか銀天街、アーケードの商店街の中に、いっぱい自転車を停めちゃって、大街道や銀天街で何かあっても、救急車が入っていけない、消防車が入っていけなくなるんですよ。それはいかんということで、いろいろとサイクルガイドの方が、ここに停めてくださいねとか、いろいろと駐輪場を増やしたりしてきました。放置自転車が多い市内の中心部から優先して、駐輪場を整備しています。高島屋からお堀に繋がる花園町通り、また、その近くにありますが松山市役所第4別館に、無料の駐輪場です。そして、大街道には最大2時間無料の駐輪場を作っています。また、今年3月には、高島屋の南側にある中の川通りに、新しく無料の路上駐輪場を作っています。こういった取組をして、ぐっと減らしてきたということになります。ハードで、ソフトでっていう、2つのことがあるんですけど、こういうものを整備するのはハードですよ。ソフトでっていうのは、マナーとかになりますけれども、やっぱりただ駐輪場を作ったとしても、マナーを守ってもらわないと、どうしようもならないので、さっき点字ブロックのことを話しましたがけれども、みんながちゃんとマナーを守って、みんなが住みよいまちづくりにご協力をいただいたらと思います。よろしくをお願いします。

【北条南中】 北条南中学校です。四国は本州と陸続きではないため、人の出入りがしにくくなっています。そこで、新幹線を取り入れ、地域にとどまる、魅力あるまちづくりをしていくことも、四国以外の人に、四国の魅力を発信するのと同じぐらい大切になってくると思います。その上、どんどん建設し、アーティストのライブが行える状態にすると、より松山市を活発的にできると思います。この意見について、どうお考えですか。

【都市・交通計画課長】 四国に新幹線が走りますと、松山から新大阪までは、現在3時間半かかっているんですけど、それが1時間38分に、そして、松山から高松までは、今、2時間22分かかっているんですけど、それが42分になるなど、早く移動ができて、駅の周りにも新しいビルや商業施設などができて、魅力的なまちに生まれ変わることが期待されています。先月7月に、JR四国は、高架化される新しいJR松山駅を9月29日に開業することを発表いたしました。高架下の商業エリアも「だんだん通り」と名前が決まって、そこに入る店舗の詳細は、後日お知らせすると伺っています。また、今あるホームの跡地にも、商業施設などを検討していると伺っています。松山市では、JR松山駅の南側のエリアに、新しい施設の整備を検討しています。まだ、どのような施設を作るかは決まってい

ませんが、市民の皆さんのご意見を伺いながら、新たな賑わいを生み出せる施設にしていきたいと考えています。

【市長】 たくさんの方が入る、大きな施設を作ってほしいという意見は聞いています。例えば、スポーツやコンサートなどに使えるアリーナだったり、また、演劇や音楽などで使える、文化活動で使うホールだったり、いろんな意見があります。ここなんですけど、インシャルコストとランニングコストっていうのがあって、ランニング、走り続けるみたいな感じでイメージしてもらったら、維持管理、ずっといる維持管理のコストのことを、ランニングコストって言います。最初に使うコストを、インシャルコストっていうんですが、今まさに、真剣に、松山市役所で、松山駅の周辺に何を設置するかっていうのを、議論を重ねるところです。多分、作ったら30年40年50年使うことになると思うんですね。今の松山市民会館で、もうそろそろ65年ぐらい使っていることになるんですよ。ということは、30年40年50年使うということを見越して、考えていかなきゃいけない。その維持管理費は、多分みんなが持つことになるんですよ。今、15歳だとすると、20年で35歳か、30年だとすると45歳か。もう50年とするならば、65歳。多分、皆さんが働いて、維持管理をしていくっていうことになるんだと思うんですね。野志さんの時にいらんもん建ててっていうのは絶対に言われたくないので、今、皆さんの声をしっかりと聞きながら、松山市にとって何が必要なかっていうのを真剣に考えているところです。よく考えて、何が必要なかをやっていきたいと思っておりますので、またよろしくお願いします。あと一つ、新幹線のお話が出たので、今日、興味のある方は、出入口のところに、四国の新幹線、四国経済連合会が事務局をしている四国新幹線整備促進期成会の資料を持っていますので、ご興味のある方は持って帰っていただけたらと思います。新幹線ができたら、相当お金が要るんじゃないのって思うかもしれませんが、実はスキーム、枠組みがあって、新幹線の整備費用は、国と県や市などの地方自治体と、JRが負担することが、法律で決められています。四国に新幹線ができる場合の地方の実質負担は、12%から18%程度と言われてます。その中で、松山市の負担は県との協議になります。ですから、12%から18%というと、地方が、そんなに半分もは負担しなくていいんだなっていうのは感じていただけるかと思えます。新幹線が来るんだったら、すごくお金が要るんじゃないのかなっていうのは、ちょっと違うところ、そういう枠組みがありますよ、というのをご説明させていただきました。

【東中】 東中です。松山市が10年後20年後も、豊かなまちであるために、大人の方たちが様々な工夫をしてくださっていると思います。そこで質問です。私たち中学生に、今、松山市をより良くするために、何かできることはありますか。

【企画戦略課長】 松山市には先人、昔の人から受け継いできた美しい自然、美味しい食材、日常に溶け込んだ俳句とか文化、また、道後温泉本館とか、松山城など歴史のある建物、先ほどもありました、歩いて暮らせるコンパクトなシティ、コンパクトシティなど、他の都市では簡単に真似できないような豊かな宝がたくさんあります。また、気候にも恵まれている

松山市ですので、例えば冬場に、雪国と違って雪かきをしなくてもいいなど、目に見えない豊かさもあります。皆さんにとっては、日常の当たり前のことですが、他の都市で暮らしてみると、当たり前じゃなかったんだなと気付くことがあるかもしれません。10年後20年後は、皆さんの時代となります。まずは、地域に誇りや愛着を持って、自分の住む地域の魅力を探し、他の都市で暮らしてみたらどうか、ということもイメージしながら、松山市のことをしっかり調べて、学んでみてください。その中で、皆さんが今後も残したいと思った豊かさを、大人になるまで、どんどん周りの人たちにも伝え続けてほしいと思います。私達も若い世代の皆さんと一緒に、これからも持続可能なまちづくりをしっかりと進めていきたいと思っています。

【市長】 私からちょっと。長崎市さんってあるでしょう。私も視察で行かせていただいたんですけども、駅周辺のまちづくりで、長崎市さんに勉強に行かせていただきました。お話していると、長崎って坂が多い街なんですよ。松山の向かい側の呉市さんも結構坂が多い街なんですよ。坂が多いと、結構階段が多くて、なかなか移動が大変ですよ。北海道の札幌市に出張に行ったことがあります。覚えているのが、どか雪どか雪って言ってましたけど、1回ドーンと雪が降ると、その撤去費用が1億円かかるんだそうです。春になったら溶けるのに、のけんといかんでしょ、車が通れんから。1億かかるんですよ。松山はそんなに、降ることはあっても積もらないでしょう。温暖であるとか、そんなに、そこまでは坂がいっぱいではないよね。僕は大学は岡山に行ったんですけど、同じ瀬戸内やから同じかなって思って海に行こうとしたら、松山なら車で20分ぐらい行ったら梅津寺とかありますでしょ。和気とか、堀江とか。裸足で歩いても気持ち良い砂浜。でも、岡山は同じ瀬戸内やっただけど、岡山市内から車で1時間くらい行かないと海水浴場がないんですよ。砂浜も、どっちかと言ったら、裸足で歩いたらちょっと痛くなるような、小石混じりの砂浜。だから、実は、松山は良いものがいっぱいある。他の市長さんから、松山にはすごい良いもんがいっぱいありますねって言われる。それに気付くことが大事なことだと思います。気付くと、守っていこうとか、そういう思考になっていきます。僕は県外に出て、より松山のことが好きになって、松山で就職しようと思いましたが、やっぱり何が大事なんかって気付くことが大事だと思いますので、そこをちょっとお願いできたらと思います。別に、大学とか専門学校でも、県外に出るなって言ってるわけじゃないですよ。就職も、県外に出るなって言ってるわけじゃないですよ。それは自由だけれども、どこかで松山と繋がってほしいなと思います。

#### 広報タイム「救急車到着までの応急手当」

【久米中】 久米中学校です。私たちは、スポーツの文化について質問です。僕は野球部に所属してるんですが、近くにボールを使う公園が少なく、部活や家でしか練習ができません。あと、近くの公園には、バスケットコートやテニスコートがないので、気軽にスポーツがで



きる公園や施設が欲しいです。その件について、何かお考えをお持ちですか。

【まちづくり推進課長】 松山市では、地域でスポーツを普及させるため、学校の授業などに支障のない範囲で、市立小中学校の体育施設を、夜間に有料で開放しています。久米中は体育館と柔剣道場、久米小は体育館と運動場、北久米小・窪田小・福音小は体育館を開放しています。また、誰もが気軽にスポーツに取り組めるよう、市のいろいろな施設を管理している松山市文化・スポーツ振興財団と連携して、各種スポーツ体験や教室を実施しています。さらに、バレーボール、グラウンド・ゴルフ、ソフトボール、ペタンクといった市民スポーツ大会や、市民体育祭を開催するほか、関係する機関や各種団体が主催する大会を支援することにより、市民が広くスポーツに関わることができるようにしています。そして、JR松山駅の南側エリアでは、新しい施設の整備を検討しています。まだ、どのような施設を作るのか、決まってはいませんが、市民の皆さんの意見をお伺いしながら、新たな賑わいを生み出せる施設にしたいと考えています。

【市長】 近くのことと、市全体のことをお話しましょう。久米地区の比較的近くにあるスポーツ施設として、重信川のソフトボール広場、そして、石手川のテニスコートがあります。久米地区では南久米公園で、ソフトボールなどの競技ができることにはなっています。市内でお住まいか、市内で働いている大人の方が、まず申し込み登録を行ってもらって、夜に使うことになりますから、クラブチームの監督など、誰か大人の方の付き添いがあれば、中学校の皆さんも、小中学校の体育施設を夜間に利用することもできます。市全体の話でいうと、私が就任させていただいて、野球でいうと、北条のスポーツセンターの奥に2面、野球場を作らせていただきました。あれは実は、北条のバイパスがあるんですが、北条のバイパスを作った時に、トンネルを掘った後の残土を持っていける土地があったから、坊っちゃんスタジアムと同じ大きさの2面を作ることができました。私も野球部だったんですけど、私が子どもの頃は、伊予銀行さんも野球部を持っていました。愛媛銀行さんも野球部を持っていた。各企業さんが野球のグラウンドを持っていたんですよ。それが、企業さんが苦しくなってきた、1つ減り、2つ減りってなっていった。松山の硬式野球チームが練習場所を求めて、伊方町の佐田岬の方まで、片道2時間かけて行ってるって話を聞いていたので、それはあまりにもいかんでしょってことで、スポーツセンターの奥に2面作らせていただきました。今、いろいろと、近くではこういうところが使えます、こうやったら使えますって申し上げたんですけども、坊っちゃんスタジアム、スコアボードを新しくさせていただきました。マドンナスタジアムも新しくしていく計画があるんですけども、皆さんの声を聞きながら、いろいろとやっていきたいと思います。でも、お金のことを考えると、新たな施設をまた増やすっていうのはなかなか難しいので、工夫しながらやっていきたいと思います。よろしく願います。

【高浜中】 高浜中学校です。私たちの住んでいる高浜地区は松山観光港があり、海の玄関口となっています。また、梅津寺公園や梅津寺海岸があり、自然豊かな素敵な地区です。し

かし、観光客は少なく、高浜の少子化も進んでいます。高浜中学校では、生徒数減少による学級数の減少で、様々な行事も盛り上がり欠けるのではと、不安を抱えています。そこで、高浜地区を活性化させるために、私たちにできることはありますか。

【まちづくり推進課長】 高浜地区では、高浜地区まちづくり協議会を始め、地域の皆さんが主役となってまちづくりを進めていただいています。また、現在、松山市では各地域の特性や課題を見つめ直し、地域が一体となって、さらに地域の賑わいや発展を生み出すよう計画作りを行っています。この計画は、地区にお住まいの方の意見も反映させながら、高浜地区の将来像や、まちづくりの方向性などを決めたり、地域と行政、それぞれができることなどを整理することとしています。計画ができましたら、冊子を作成して各地域に配布する予定です。この冊子を地域のまちづくりに活用していただくのはもちろん、学校での地域学習にも活用していただけるようなものにする予定です。学校と地域の交流など、中学生の皆さんにしかできないこともあるため、ぜひ若い世代の皆さんの視点で、自分たちができることについて考えていただけたらと思います。

【市長】 できたら、大人の人と関わってほしいと思います。地域行事に参加してもらったらと思っています。さっき、世代別のタウンミーティングって冒頭で言いましたけど、いろんな世代があります。各世代でブチブチブチっと切れてしまったら、いいものも繋いでいけないですね。ですので、地域行事、大人の方もできたら若い人に参加してほしいなと思ってます。若い人が参加してくれたら、いい刺激があり、繋がっていくことにもなるので、できたら地域の行事に参加してほしいなと思っています。コロナ、これはもう全世界が襲われたから、これは致し方なかったんだけど、当時言われてたのが、獅子舞をやる地区がありますが、獅子舞が継承できない、伝えることができないって言ってました。太鼓をやるところとかだったら、太鼓を継承できないとかって言われていたので、地域行事、大人と繋がっていただくのがいいんじゃないかなと思います。それと、中には、ちょっと僕、私、コミュニケーション苦手なんですっていう人がいると思うんですけど、大人と関わると、大人って配慮してくれるので、「この子ちょっとお喋り苦手なんかな」っていうのを配慮した上で、喋ってくれます。ですので、大人と喋ることでコミュニケーション能力が鍛えられて、同世代でも、鍛えたコミュニケーション能力を発揮できるということもあります。大人と関わることは結構悪くないので、また地域行事に参加していくことも考えていただけたらと思います。よろしくお願いします。

【西中】 西中学校です。私たちは、松山の環境問題と対策について質問します。近年、世界中で、2030年までに達成すべき持続可能な開発目標 SDGs の達成に向けての活動が活発化しています。私たちの学校では、SDGs 達成に向けて、学校全体でペットボトルキャップの回収をしたり、全校生徒で地域の清掃活動に取り組んだりなどして、私たちにできることから取組を行っています。そこで、私たちの住む松山では、どのような環境問題があるのか、ということに興味を持っています。また、それらの問題に対して、具体的にどのような

な取組が行われているかを知りたいです。

**【企画戦略課長】** SDGs、皆さんも勉強されていると思いますけど、全ての人が生活の豊かさを目指して、地球の環境を守りながら、持続可能な経済成長を進めるというもので、松山市では、主に「ごみの減量」や「再生可能エネルギーの活用」を進めています。そういうことで、環境問題ですが、ごみを減らすためには、市民の皆さんのご協力が不可欠となってきます。松山市では、環境学習会や出前講座を開催し、広く市民の方に、ごみの分別や3R、リデュース・リユース・リサイクルについて、正しく理解を深めていただいているほか、ポイ捨て禁止の看板を無料で配布したり、会社の周りや地域を清掃する「プチ美化運動」を呼びかけて、現在、286の企業や団体の方にご参加いただいています。また、二酸化炭素を排出しない太陽光エネルギーの活用を進めるため、太陽光パネルを小中学校の屋根、屋上など、市の施設に積極的に設置しています。そのほか、市民や事業者には太陽光パネルの設置費用を補助するほか、電気自動車や燃料電池自動車などの普及を図るため、購入する時の費用を補助するなど、二酸化炭素を排出しないクリーンな取組で温室効果ガスを減らしています。

**【市長】** こうやってリサイクルをするっていうことは、皆さんを助けることにもなりますよっていうお話をしたいと思います。ごみ処理場、クリーンセンターって、何となくイメージできますか。クリーンセンターを建てる時は、ある程度大きいだろうし、あそこで燃やすから、結構頑丈な建物があるんじゃないかなと思いますよね。ということは、かなり、建てる時にはお金が要るんです。そういうクリーンセンターとかを建てようと思ったら、それはみんなの税金で建てるんです。リサイクルできるものはリサイクルするんですけど、一般的に燃やすならば、ごみの量が少なかったら燃やす量が少なくて、燃やすお金も少なくなるし、長持ちするでしょう、ごみ処理場も。20年しか使えないのと、50年使えるんだったら、全然違うじゃないですか。なので、リサイクルをする、ごみを少なくすると、私たちを助けることにもなる。僕らの時代は、SDGsについては勉強してない。そんな概念がなかったから。SDGsはみんな学校で勉強してるので、私たちを助けることにもなるので、またご協力のほど、よろしくお願いします。

**【城西中】** 城西中学校です。僕は小さい頃からピアノを続けています。松山駅の再開発で、新しいホールを作るという案があることに喜んでいますが、しかし、文化芸術に関するバックアップは決して多くなく、寂しい思いをしてきました。スポーツでは、ジュニアアスリートの育成や、試合の無料観戦など、支援や優遇措置がたくさんあります。僕が期待する音楽では、一流の方に学べる機会が少なく、学ぼうとするなら、県外へ出向いていかなければなりません。これまで、いくつかのコンクールに出場してきましたが、愛媛県や松山市のレベルは決して低くありません。バックアップがあると、ますますレベルアップが期待でき、松山市がさらに豊かに潤うと思います。これについて、ご意見をお聞かせください。

**【まちづくり推進課長】** 松山市では、音楽をはじめとした文化的部活動を応援するため、

四国大会以上の大会や発表会などに参加する小中学生に対して、交通費や楽器を運ぶ費用などを補助しています。また、皆さんのような若い世代の方が、質の高い文化芸術に触れて、学ぶことのできる事業も行っています。例えば、三味線・尺八・お琴など、日本の伝統的な文化を体験できる「伝統文化子ども体験事業」を実施したり、「市民ミュージカル」では、中学生も含め、多くの市民の方にご参加いただき、文化芸術活動を体験していただいています。ほかにも、プロによる演奏会をはじめとした、様々な文化芸術のイベントの後援などを行い、文化の振興に取り組んでいます。そして、さらなる文化芸術の振興を推し進めるため、令和5年3月に、「松山市文化芸術振興計画」の第2期計画を策定しました。この計画では、「市民全員が“まつやま文化人”」という将来ビジョンを掲げ、文化芸術の特性を生かして、誰もが参加できる社会の実現を目指しています。これからも関係する機関と連携し、文化芸術を学んでいる皆さんが、のびのびと活動を行えるように、取組を進めていきたいと思っています。

【市長】 J R松山駅のところに、どういう施設を作るのかっていうのは、ちょっと重ねてになりますけれども、今、しっかりと皆さんの声を聞きながらやっていますので、もうちょっと待っていただけたらと思います。それと、今お話があった、スポーツと文化と、アンバランスになってはいけないと思いますので、その支援というのがアンバランスになってないかというのは、ちょっと調べてみたいと思います。みんなは将来がある世代なので、できる限り、いろんなやり方があると思うんですけども、松山市として支援をしていきたいっていうのは、これはしっかりとと言えるところなので、いろんな形で支援をしていきたいと思います。よろしくお願いします。

【旭中】 旭中学校です。私たちの学校からは、市長の思う一番の松山の魅力、という質問です。松山市には、道後温泉や松山城など、素晴らしい魅力的な場所が多くあります。そんな中で、市長さんの思う、松山市の最も魅力的なものとは何ですか。

【市長】 結構、今の世代、先生方は多く知っていらっしゃると思うんですけど、僕は南海放送のアナウンサーをしていました。皆さんは若いので、私がアナウンサーをしていた現役時代は見えていらっしゃると思います。アナウンサーの時は、どれか一つって言いやすかったんですけど、今の仕事になると、なかなか言いにくいんですよ。というのが、松山城が一番ですよって言ったら、道後温泉の方々は、うち一番じゃないのってなりますよね。関わる人がいっぱいいらっしゃるんで、なかなか一つって言いにくいなところがあります。今日言った中で、ちょっと重なるんですけど、すごいいろんな魅力が詰まっているのが、松山の特徴だと思うんですよ。言い換えではないんですけど、いろんな魅力が集まっている。松山市のブランドメッセージをまた出すんですが、今使っているメッセージで「いい、加減。まつやま」っていう、松山市のロゴがあるんですよ。これは、「いい加減じゃなあ」ではなくて、良い加減に集まっている。ほどよく都会で、ほどよく田舎で、海もあって山もあって。温泉のない都市もありますよね。お城も、現存12天守っていうんですけど、明治

になってからは、基本的にお城を、お侍さん作らないですよ。江戸時代以前、以前だから、江戸時代を含む、江戸時代以前に作られた天守が残ってるって、全国で12、ちょうど1ダースしか残っていないんですけど、松山城はその一つですし、回廊、廊下で繋がってるっていうのは姫路城、松山城がとっても有名なんです。ですので、松山城であつたり道後温泉であつたり、俳句甲子園。今、夏井いつき先生、テレビでも活躍されていますけど、夏井いつき先生が最初から関わっていらっしゃる俳句の魅力、全国、国外にも広がってますね。美味しい柑橘であつたり、いろんなものが集まってるっていうのが、松山の魅力ではないかなと思います。大人だな、逃げたなって思わないでください。いろんな魅力が詰まってるっていうのは、松山の魅力だと思いますので、それをお伝えします。

【湯山中】 湯山中学校です。私たちは、巨大地震への備えについて質問します。最近、地震が多いですが、松山市は家屋の耐震対策を進めています。もし、自分の住んでいる地域が、土砂崩れなどで孤立してしまうことがあったら、その時は、松山市はどのように対応しますか。また、震度7の揺れの体験を、学校の避難訓練やイベントで紹介することも良いと思います。これについて、ご意見をお願いいたします。

【市長】 私は防災士という資格を持っています。これはですね、皆さんのこと、子宝って言いますよね、子どもの宝。将来を担うから子宝って言いますが、子宝のそばに防災士さんがいれば安心だなと思って、小学校や中学校の先生方、保育士さんや幼稚園の先生方に、防災士の資格を取ってほしいと思ったんです。先生方にも取ってもらえないですかってお願いしましたら、医療の分野、介護の分野、また教育の分野って、とっても忙しいですよ。

「いつ取るんですか市長さん」って当時言われました。「僕も一緒に取りますから、夏休みに一緒に取りましょうよ」ってということで、今、小学校や中学校の先生方、保育園や幼稚園の先生方に、防災士の資格を取っていただいています。みんな備えをお願いしますとさっき申し上げましたが、山間部や島で集落が孤立して、けが人が出た場合は、松山市の消防、自衛隊、警察、海上保安部って言って、海の警察と言われますが、海上保安部や愛媛県のヘリコプター、消防防災航空隊などが一緒になって、救助活動を行います。狭い道は大きい消防車が入っていきませんが、資材や機材などを積んだ小型の車両で進入していきます。土砂で道がふさがれている時は、ショベルカーなどの重機で取り除きます。また、島では、消防救急艇っていう速い船があります。また、ヘリコプターが現場に向かって、ヘリコプターの降りられるところも作っています。海の警察、海上保安部とも連携して救助活動を行っていきます。震度7の揺れを体験できる地震の体験車ですが、これは学校でも体験できますので、先生と話し合っていて、近くの消防署に相談いただいたらと思います。ちょっと余談ですが、私が南海放送のアナウンサーをしていた時は、災害報道のチーフをしていました。スタジオで生放送している時に地震が起きた時に、どんなコメントをするか、落ち着いてきたら1分後ぐらいにどういうコメントをするか、10分後にはどういうコメントをするか、そういうのを大学の先生方と作ってきました。そういったことから、防災士の資格を取ろう

と思ったんですが、延長線上にあります。さっき言った地震の体験車に乗ると、ある程度構えができます。大きい地震が来た時に、どういふことをしないといかんかっていう備え、構えができますので、ぜひとも体験していただいたらと思います。よろしくお願ひします。

【鴨川中】 鴨川中学校です。私たちは中学生のコミュニティについて質問します。現在、SNSなどが普及する中、中学生の対面でのコミュニケーションに課題を感じます。学校での人間関係がうまくいってなかったり、悩んだりしている子どもが、気軽に誰かとコミュニケーションを取れる機会などは、市から提供されていますか。どのような方法がとられているか、その取組が広がっているかを教えてください。

【教育総務課長】 中学生は心も体もグンと成長する時期です。家族や友達との接し方に悩むこともあると思います。市内の各中学校には、悩みを抱える生徒の心の回復を支援するため、専門的な知識や経験を持つスクールカウンセラーがいて、相談を受け付けています。また、松山市や愛媛県でも、経験豊富な相談員が、子どもからの様々な相談を受け付けています。ご家庭や学校生活のこと、友達とのコミュニケーションなどでお困りごとがある時には、1人で悩まないで、遠慮なくご相談いただいたらと思います。相談された方や相談内容の秘密は、絶対に守ります。電話が難しい場合には、LINEやメールでも相談を受け付けていますので、気軽にご利用いただいたらと思います。

【市長】 今のLINE便利ですからね。LINEの相談も受け付けていますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。今日の途中でも言いましたけど、コミュニケーション苦手な人は、大人と関わってみる。大人って、やっぱり配慮ができるので、ちょっとお喋りが苦手なんかなっていうことを前提にして、コミュニケーションできるので、大人との間でコミュニケーションを鍛えて、コミュニケーション能力を上げて、それをお子さん同士の中で発揮することもできるかと思ひますので、大人と関わっていただくのも大事なのかなと思ひています。これね、前回の中学生とのタウンミーティングでも話したんですが、私って、松山市立清水小学校の入学・卒業なんです。そのままだったら勝山中学に進む予定だったんだけど、父親が県職員だったので、伊予三島市、今の四国中央市で、入学から卒業まで3年間育ってるんですよ。友達がもうブツッと切れてるんですよ。清水小学校の友達はいないから。いないよね、伊予三島には。もちろん、電話で連絡取ったりはしてたんだけど。伊予三島で辛かったのが、実際にあったんだけど、小さな学校だったんで、転校生とか、よそから来る子が珍しい学校だったんで、珍しいと目立つでしょ。だから、「松山帰れ」とか言われて、ちょっといじめられたことがあったんですね。「松山帰れ」って言われても、親と一緒に来てるから、帰れないでしょ。それはそれで辛かったんだけど。これは勧めないよ、勧めないんだけど、ある時、もうたまらなくなって、放課後の教室で殴り合いの喧嘩をしてね。それで先生が止めに来て、みたいなことがあって。それ以来、もうそういうことはなくなったんだけど、そんなこともありました。私もそういうような体験はしているんで。人間、辛い経験をすると、辛い人の立場が分かるようになる。恋愛っていうもので言うと、失恋する

と、失恋した人の気持ちが分かるじゃない。だから、人間辛いことがあったら、それは無駄ではないので。職員の皆さんにも言いますが、しんどいことがあったら、人間、良い根っこが生えている。その良い根っこが生えると、良い花が咲きますよ、良い実を結びますよって言っています。神様は、しんどいことだけは与えないと思っているので、みんなこれから中学校、高校、大人になっていくにしたがって、いろんな経験をしようと思うけど、決して無駄ではないと思うので。いろんな経験をしようと思うけど、周りの人に相談をしながら進んでいってもらったらと思います。よろしくお願いします。

【道後中】 道後中学校です。愛媛県には、松山城や道後温泉といった観光名所がありますが、それは他県にもあり、愛媛県の松山市として、知名度があまりないと感じています。そこで、他に観光名所を作る予定や、今ある観光名所をどうやって松山市だけのものにするかを質問でお聞きしたいです。

【企画戦略課長】 松山市には、道後温泉、松山城、これ有名です。その他にも、坂の上の雲ミュージアムとか、子規記念博物館などの観光施設や、北条鹿島とか興居島の恵まれた自然景観とか、お遍路など、魅力あふれる観光資源がたくさんあります。これらの魅力を発信するため、ホームページへ掲載したり、SNSを活用したりするほか、他の都市で開催されるイベント会場で、パンフレットを配布するなどしています。海外に向けては、国際線が運航されている韓国、中国、台湾を中心に、愛媛県などと連携して、広告代理店や報道機関の方に、温泉とお城と文学のまちである松山の魅力を発信しています。このような取組から、令和5年度の観光客数は、555万5,500人になり、前年と比較して16.1%、76万9,900人が増えました。今後も、さらに多くの観光客に来てもらえるよう、松山市の魅力を国内外に発信していきたいと思っています。

【市長】 もう全部の中学校さんに聞いたのかな。良かった、良かった。どこか1校だけ聞いてない、みたいなことになったらいかんで。全部発表してもらってよかったなと思っています。世代的に、そういう時期なんだと思うんですけど、それは成長過程でいいと思うんです。やっぱり、自分のまちには、実は宝物がいっぱいあるっていうのを気付く時が来ると思うんですよ。実は私も、市長になったばかりの時に、東京の旅行会社の社長さんとお話したことがあります。野志市長さん、道後温泉の宝って何だと思えますって言われた時に、建物ですかね、お湯もいいですし、なんですかねって言った時、言われてはっとしたのが、いや、野志さんね、道後の魅力は何といても、お風呂に入った後、大広間でお茶とお茶菓子が出てくることですよって。それは、温泉はいっぱいあるけど、全国に温泉いっぱいあるけど、どこでもお風呂上りにお茶とお茶菓子が出てくるわけではないんですよって言われて、そのおもてなしが道後の宝なんですって言われて、気付いたことがありました。やっぱりね、これは、ちょっと外に出てみないと分からないところもあると思います。ずっと同じまちにいと、それが当たり前だと思ってしまうので。これから成長過程の中で、高校年代とか、大学年代とか、お仕事するようになって、外に出て、松山ってこうなんだなって気

付く時が来ると思います。そこが大事な時だと思います。宝物は松山いっぱいあるし、それを守っていききたい、より磨いていききたいと思うんですけど、これは、私が就任してから宝みがきのまちづくりって言ってきたんですけど、宝はいっぱいあります。ですので、それを磨いていききたいと思っています。ちょっと締めがてらになってきますが、全国にミュージアム、博物館、文学系の博物館っていうのがあって、松山には道後でいうと、子規記念博物館ってあるでしょう。あれは、全国の文学系の博物館でいうと、3番か4番の入場者数なんです。1番は、国技館の隣にある江戸東京博物館だったかな。これは場所もいいので、ダントツの1番。2番は、ちょっと名前は明かしてないんですけど、多分、東北のある文学者の方を記念した博物館なんだと思います。3番4番が、松山の子規記念博物館と坂の上の雲ミュージアムなんです。全国に100ぐらい、文学系の博物館ってあるんですけど、坂の上の雲ミュージアムと子規博は、3番4番ぐらいで、かなりの人数を誇っている。松山城もさっきすごいいって言いました。海も砂浜もきれいなんよってという話をしましたが、いろんな魅力があるので、そこを私たちはしっかりと皆さんの声を捉えて、道後はもう大修理が終わりましたよって言いました。花園町通り、世界のコンテストで評価されていますが、今、花園町通りのような通りの再編を、大阪の御堂筋がやっています。大阪の御堂筋よりも前に、花園町通りは、もっと歩いて楽しい、自転車とはっきり分けてっていうまちづくりをしました。ですので、皆さんの意見をしっかりと聞きながら、良い松山にして、次の世代に渡していきたいと思っています。松山には宝物がいっぱいあるっていうのを、またいつか感じると思いますので、市長が言ってたなっていうのを、ちょっと胸に持ってもらったらと思います。よろしく願いします。

**【久米中】** 久米中学校です。街の景観を良くするために、荒地や空き家などの環境整備をしていただきたいです。荒地や空き家などは、物騒で暗く感じるので、環境整備をしていただくことで、美しく明るいまちを作れることを期待しています。現時点で、このような環境整備は進められているのでしょうか。

**【都市・交通計画課長】** 空き地や空き家は、所有する方が自らの責任で、適切に管理をするべきなんですけれども、地域の方から雑草が生い茂って困っているとか、相談を受けた際は、職員が現地調査を行っています。そこで、周りの方、周囲に悪影響があると判断した場合には、所有する方に電話や文書で助言をしたり、指導したりしています。また、空き家は窓ガラスが何枚も割れていたり、ごみが山積みのまま放置されていたりと、周囲の景観と調和がとれていない場合でも、指導ができるようになっていきます。昨年、令和5年度では、松山市では、空き地で57件、空き家で197件の相談に対応して、空き家を減らしてもらったり、空き地に伸びた草をきれいにしたりしています。

**【市長】** 空き家問題とかって聞くじゃないですか。あれが難しいのは、家は個人の資産だからなんです。もちろん、周りの方々の苦情を生み出していると、松山市としては踏み込んでいかなければいけないから、昔よりかは踏み込んで入れるようになっていきますけれども、



空き家問題の難しさは、「なんで個人の資産をみんなの税金で直すの」みたいな話なんですよ。それならうちも直してやっていう話になる。そこがちょっと難しいところです。でも、そのようなことを言って止まってもいいかんで、ちょっと1歩2歩踏み込んで、対策をしているところです。最後に、若者の移住、最後のパワーポイント出ますかね。三津のことをちょっと。県外からの移住者、令和元年度は472人だったのが、ぐっと増えて3,000人近くまで増えてきています。これは、松山の温暖な気候や暮らしやすさなんかもあって、ここまで移住者が増えているっていうことですが、三津はとっても歴史のあるところなので、古い町並みがあります。壊しちゃうのはちょっともったいないので、建物、三津の良い町並みを生かしましょうということで、借りたい人と貸したい人をマッチングしています。三津浜の魅力にはまってもらいましょうということで、三津ハマルっていう拠点を作って、借りたい人と貸したい人をマッチングしています。移住者が増えているというのは、三津にも増えているからです。ですので、工夫しながら、いろいろやっていきたいと思います。15時になりました。今日、本当に1時間半、よく聞いてもらったし、よく意見を言ってもらったと思います。とにかく私は、皆さんを前にしてお誓いするのは、大事な松山の子宝って言ったんですけど、皆さんにこうやって参加してもらっているんで、皆さんの意見は大事にしていききたいと思ったり、職員の皆さんも一緒に聞きましたけれども、皆さんの意見を大事にしていききたいし、まちづくりに生かしていきたいと思ったり。今、一生懸命、我々の世代が皆さんの声を聞いて、動いて、松山をより良い松山にして、皆さんの世代に受け継いでいきたいと思ったり。道後の大修理が終わったように、問題を先送りしないで、良い松山にして、君たちの世代に引き継いでいきたいと思ったり。またよろしくお願いします。遠慮なく意見を言ってください。市役所に言っても、何にも変わらなくて、言ってもらって、「市」民の皆さんの「役」に立つ「所」、「市」民の皆さんの「役」に立つ「所」で、「市役所」じゃなきゃいけないと思っているんで、また遠慮なく言ってください。今日は貴重な時間、ありがとうございました。

—了—